

「事業名: 広野町における未利用資源の発掘 みかんプロジェクト」

平成30年度補助事業の実績・成果

福島工業高等専門学校 連携市町村: 広野町

連携市町村との協定締結日: 平成22年3月25日 現地拠点: 双葉郡広野町パークギャラリー

事業のポイント

教育・産業の分野で、地域資源の発掘と活用をテーマに、町立小学校では放課後に微生物に関する学習会を実施し、12月に有用微生物採取のためのみかん狩りを行い有用微生物の探索に着手した。未利用資源として粃殻やみかん搾汁滓に注目し農産廃棄物の資源化試験を開始した。

今年度の活動実績

表1 放課後理科の学習会(広野小学校)

開催日	内 容
10月29日	生物と微生物について
11月20日	環境中の微生物の採取
12月3日	微生物採取のためのみかん狩り
12月10日	実験教室 みかんで風船を溶かそう
1月21日	実験教室 スライム ゾルとゲル
1月28日	みかんの微生物について

放課後の学習会で微生物について学び、実習を終えた広野小の6年生(15名)が有用微生物試料としてみかん狩りを行った。有用微生物の探索が行われている。(福島高専、福島大学)

表2 未利用資源の資源化検討

品名	用途
粃殻	コンクリート混和剤
みかん搾汁滓	バイオエタノール



資源化条件: 量的確保の容易さと処理方法の汎用性



図1 放課後学習会(広野小学校)



図2 培養試料

今年度の成果

- ・**教育** 教育委員会の全面的な協力を得て、小学校の正規の授業を邪魔せずに、テーマに従ったプログラムを実施できた。食べないみかん狩りと称した試料採取を小学生が行い、福島高専の学生が所定の処理を行い、有用微生物の探索を行うことができた。
- ・**産業** 町役場と農家の厚意で未利用資源として、粃殻とみかん搾汁滓を試料として資源化検討に着手できた。粃殻の加工プロセスを地域で運営できるようシステム設計を行う予定である。
- ・**研究** ネットワークの構築に着手できた。福島大学では試料の解析が進行中であり、東京大学、早稲田大、東日本国際大学など双葉郡内で活動する大学、解析には高知大学など情報の共有と研究を進めることができた。

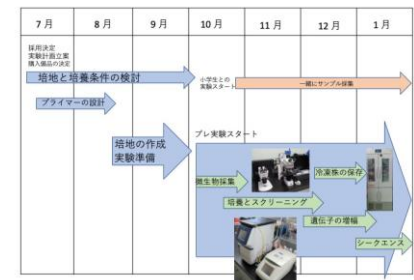


図3 みかん酵母菌探索スケジュール